

第 1 3 回 倉敷市教育委員会議事録			
1 開催期日	令和 2 年 1 2 月 2 4 日 (木)		
2 開会及び閉会時刻	開会時刻 1 4 時 6 分 閉会時刻 1 4 時 3 6 分		
3 場所	教育委員室		
4 出席者	井 上 正 義		
	仁 科 正 己		
	大 原 あかね		
	難 波 弘 志		
	沼 本 浩 彰		
5 会議に出席した事務局又は教育機関の職員の 職 氏名			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	黒 瀬 敏 弘	副参事	三 宅 香 織
参 事	辻 一 幸	課 長	長 野 渉
参 事	小 野 敏	課長補佐	堀 内 秀 和
部 長	三 木 宏 之		
部 長	三 宅 健一郎		
参 事	三 谷 育 男		
次 長	浅 沼 健 一		
副参事	寺 内 隆		
6 教育長等の報告			

7 議題 議案第49号 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び	
評価について	
8 議事の概要，質問した者の氏名及びその要旨並びに議決事項	別紙のとおり
9 傍聴の状況	
公開	傍聴人 1名
議事録者氏名	堀 内 秀 和
議事録署名委員	
教育長	井 上 正 義
委 員	仁 科 正 己

教育委員会の概要 12月24日 14:06～14:36

〈教育長〉 只今から、教育委員会を開催いたします。

只今の御出席は5名、会議は成立いたしました。

このたびの教育委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ZoomによるWeb会議方式により開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

まず、11月19日開催の教育委員会議事録についてでございますが、各委員の皆様方におかれましては、内容を御確認いただきましたでしょうか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 前回の議事録につきまして、承認することに御異議ございませんか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 御異議ないようですので、前回の議事録を承認することといたします。本日の傍聴者は1名でございます。傍聴者は倉敷市教育委員会傍聴人規則に従って、傍聴をお願いいたします。

それでは審議に入ります。議案第49号「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」の御説明を、辻参事、お願いいたします。

〈辻参事〉 教育委員会参事の辻でございます。議案第49号「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」御説明をいたします。資料は先日お送りいたしました「評価報告書」でございます。よろしくお願いいたします。

この点検評価につきましては、前回の教育委員会で内容について協議をさせていただいたものでございます。

今回、学識経験者からいただきました意見を記載するとともに、前回の協議

でいただきました御意見を基に、数値目標のグラフのいくつかについて、修正させていただきました。

学識経験者からの意見では、本市の実施した事業につきましておおむね評価していただいたものと考えておりますが、今後事業に対して期待することや、留意すべき事項など、重要な示唆を含む御意見をいただいております。

一例をあげますと、資料10ページの学識経験者の意見、これは重点施策のテーマ「災害からの一日も早い復興」に係る重点施策についての意見でございますが、黒丸の3つめ、被災した児童生徒、保護者、教職員などの精神的なケアについて実施した事業については評価をいただいたものと考えておりますが、被災者の心のケアは短時間で終了してしまえるものばかりでなく、被災地の学校では通常の体制の中でケアが必要な児童生徒には実施できるよう、学校の体制づくりの工夫や、市教委としてのきめ細やかな配慮が求められるといえよう、との意見をいただいております。

こうした、学識経験者の御意見や、委員の皆様から頂きました御意見は、今後のよりよい事業実施に活かしてまいりたいと考えておりますのでよろしく願いたします。

また評価報告書につきましては、本日、御議決いただけましたら、市議会へ提出するとともに、ホームページに掲載し、市民の皆様にも公表する予定でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございました。御質問等ございましたらよろしくお願いいたします。

〈難波委員〉 資料20～22ページに関してですが、20ページの上から2項目目の「キャリア教育推進事業」、4項目目の「倉敷こどもサミット開催事業」について、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大があつて、どちらの事業も実施

されていないと思うのですけれども、22ページの「学識経験者の意見」に、「キャリア教育推進事業について、市内出身の高校生や大学生の話を聞くと「倉敷チャレンジワーク」が進路決定のきっかけになったという声が実に多い。」と書かれています。私も、中学2年生の子ども達の意見を聞くと、この職業体験をしたことで、職業に関する興味も進んだり、いろんな職業を見ることができて、これからの進路、職業を決めていく上でも役に立ったと言っていました。令和3年度がどういう状況になるか分かりませんが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大により、これまで普通と思っていた生活や考え方が大きく変わったような気がします。今後に向けて、この2つの事業を再開して、ぜひ子ども達にいろんな経験をさせてあげていければと思います。よろしくお願いします。

〈教育長〉 ありがとうございます。キャリア教育をこれからも続けていって欲しいという御意見をいただきました。他に、御意見・御質問等ありましたら、願いいいたします。

よろしいでしょうか。それではお諮りいたします。議案第49号につきまして、可決することに御異議ございませんか。

御異議ないようですので、議案第49号は可決することに決定いたしました。それでは、続きまして報告事項に移ります。

『「令和2年度岡山県学力・学習状況調査」結果の概要について』の御説明を、三木部長、お願いします。

〈三木部長〉 学校教育部の三木でございます。それでは、お配りしております教育委員会資料の2ページを御覧ください。『「令和2年度岡山県学力・学習状況調査」結果の概要』について、御報告いたします。まず、目的につきましては、児童生徒の学力及び学習の状況を把握し、それまでの取組の成果と課題の検証、

改善とともに、個々の児童生徒が自らの学習等の改善に生かすことと、また、感染症対策のもとでの児童生徒の学習状況を把握し、今後の学習指導に生かすことの２点でございます。

次に、調査対象についてでございますが、例年同様、小学３年生～５年生、中学１年生～２年生の全児童生徒でございます。

実施日・実施状況につきましては、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業等の影響がありましたので、令和２年６月２２日（月）～８月３１日（月）の間で、各学校が実施日を設定して行いました。そのため、倉敷市及び岡山県の受検者数は例年通りとなりましたが、全国的には実施を取りやめた自治体も多く、全国の受検者数は例年の半分となっております。

次に、調査結果ですが、３ページの表を御覧ください。表の中の数値は、標準スコア（全国平均の値を５０としたときの相対的な位置）で示されています。（ ）内の数値は昨年度の調査結果の値になっております。昨年度から、岡山県教育委員会からの全国学力学習調査の結果公表が、小数点以下を四捨五入して行われていることに合わせまして、本調査も小数点以下を四捨五入した数値で表しております。

小学校では、小学３年から小学５年までの全ての学年で、２教科の平均、国語、算数の標準スコアが県平均と等しいか、１ポイント上回っています。昨年度の県の標準スコアと比較しても、１～３ポイント上回っています。このことから、着実に学力の定着が進んでいることが分かります。

一方中学校では、中学１年生の国語、中学２年生の国語、数学が県平均と等しく、中学１年生の数学、中学２年生の英語が１ポイント下回っています。全国平均とは、ほぼ同等の結果が出ているものの、県平均に届かない教科も

あることから、引き続き授業改善を進め、生徒の学力の定着に努めてまいりたいと考えているところでございます。以上で御報告を終わります。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは御質問等ございましたら、お願いいたします。

〈沼本委員〉 数字で見ると、資料3ページの中学1年生の数学のスコア49が目立つのですが、この結果に基づいての今後の対策・対応について、もし考えているものがあれば、教えていただきたいのですが。

〈教育長〉 それでは三木部長、お願いします。

〈三木部長〉 学校教育部の三木でございます。中学1年生の成績が厳しいという状況が例年続いております。これは中学1年生というより、小学6年生の時の学習に課題があるのではないかと考えているところです。小学6年生の時の学校行事がかなり多いのではないかと、授業時数は確保しているものの、なかなか充実されたものになっていないのではないかとという部分があります。小6の学習をいかに中学校へつなげていくかが課題ですので、その辺りを指導課の小学校・中学校担当の者が、どういった取り組みができるか考えているところでございます。具体的には、6年生は卒業式が終わって中学校に入学するまでの期間が長いということで、そこでの課題の与え方、その課題をいかに中学校へ引き継いでいくかというところにメスを入れていけたらと考えているところでございます。

〈教育長〉 よろしいでしょうか。

〈沼本委員〉 はい、ありがとうございます。

〈難波委員〉 子ども達に今回のテストの結果を聞きますと、10点～30点と、平均点より低い子どもが結構いるように感じます。結果を棒グラフにして、各学年、各科目毎に10点台、20点台、30点台の子どもがどの程度いるのか。そ

れを見た上で、１０点、２０点の子どもへの対策、教え方、どういう工夫をしていけばよいのか。７０点の子どもが９０点、１００点を目指すにはどういうことをしたらよいのか。各クラス３０～４０人の子ども達がいる訳ですから、全体としてやると、なかなか難しいと思うのですけれども、個々のレベルに合わせた授業や補習等の工夫も考えていただければと思っています。

〈教育長〉 ありがとうございます。

〈三木部長〉 今回は、まず概要ということでお示しさせていただいております。例年どおり、これを基に結果を分析したものを冊子にして、分布図等を見ながら、御説明していきたいと考えております。いつも教育長が申ししておりますが、その学年で習うことは、しっかりその学年の内に身につけて次の学年へ送ることが基本だと考えておりますので、そういったことができる指導方法の工夫や、指導の体制の在り方等に力を尽くしていきたいと考えております。

〈教育長〉 よろしいでしょうか。

〈難波委員〉 ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

〈大原委員〉 今年度、授業時数が少ない時に、授業よりもこのテストを選ばれた理由を教えてください。

〈教育長〉 三木部長、お願いします。

〈三木部長〉 この県の「学力・学習状況調査」は、いわゆる経年変化を見て、子どもの学習の実態を調べるという目的のものです。元々４月を予定しておりましたが、実施できなかったため、先ほど申しましたように６月～８月の間で、学校でできる時に実施しました。実際は、夏期休業中の授業中に実施した学校が殆どでありました。自校の子ども達はどの程度の学力状況か、どの程度把握できているのかを見極めて、今後の指導に役立てるために実施しているところでございます。

〈大原委員〉子ども達は自宅でテストを受けたということでしょうか。

〈三木部長〉自宅ではなく、学校で日を定めて実施しております。多かったのは夏期休業中ですが、1学期の勉強が終わった後、2学期の勉強が始まる前等、通常の授業に支障のない範囲で実施したと聞いております。

〈教育長〉 よろしいでしょうか。

〈大原委員〉分かりました。やはり休校期間が長かったので、生徒達が集まることのできる機会は非常に大切な時間だと思います。その時に皆でテストを行うことはどれくらい意義があることなのかをお聞きしたいと思いました。経年変化とはいえ、今年は様々なことがありましたし、先ほど難波委員が言われたように、ついてこられない子ども達がどの位いて、その子たちにどういう対応をしていくかは大事なことだと思います。

〈教育長〉 ありがとうございます。また検討結果が出ましたら、提出していただこうと思いますので、よろしくお願いします。

〈沼本委員〉先ほどの私の質問に重なりますが、中学2年生の国語の結果が、令和元年度の51から今年度は50に下がっている分析も合わせてしていただけたらと思います。この中学2年生の国語のみが、前年度より下がっている唯一の項目だと思いますので、こちらの分析も合わせてお願いします。

〈教育長〉 それでは三木部長、こちらも分析の方もよろしくお願いします。

〈三木部長〉 はい。

〈教育長〉 他はよろしいでしょうか。

それでは続きまして、「インフルエンザに係る治癒証明書の取扱いの変更について」の御説明を、三木部長、お願いします。

〈三木部長〉 学校教育部の三木でございます。それでは委員会資料の4ページを御覧ください。インフルエンザに係る治癒証明書の取り扱いにつきましては、倉敷市

連合医師会、倉敷市保健所等の関係機関と対応を協議し、11月24日付で各学校園長に通知をいたしましたので、御報告をいたします。

通知日以降、インフルエンザに係る治癒証明書の取得のために医療機関を再度受診することによって、他の感染症に罹患するリスクを回避するため、医療機関が発行する治癒証明書の提出は不要といたしました。

再登校にあたっては、発症日から解熱後2日目まで（幼稚園児の場合は3日となりますが）の体温を記録した「インフルエンザ罹患報告書」を保護者が作成し、それを学校園に提出することで、再登校をしていただくことになっております。

なお、来年度以降につきましては、小中高等学校及び特別支援学校は、引き続き治癒証明書の提出は不要としておりますが、幼稚園につきましては、再度関係機関と協議をすることとしております。以上でございます。

〈教育長〉 ありがとうございました。それでは御質問等ございましたら、お願いいたします。難波先生、今、倉敷市全体でインフルエンザの罹患率は例年よりかなり低いのでしょうか。全国的にはかなり少ないとお聞きしているのですが。

〈難波委員〉 新型コロナウイルス感染症対策で、皆マスクをし、小中学校でかなり手洗いを励行してくれています。インフルエンザの感染はかなり抑えられていると言われております。私も今シーズン1人も診ておりません。マスク、手洗いを今の状況で励行していけば、かなり少なくなるのではないかと思います。あと、この「インフルエンザ罹患報告書」ですけれども、資料5ページの真ん中辺りに記載されている「※学校保健安全法施行規則第19条第2項」の部分が少し分かりにくいと思います。小中学校と幼稚園・保育園で対応が違う部分があるので、この部分を学校園の先生方によく御理解いただいた上で、保護者に説明していただく必要があります。医者が判断するのでな

く、保護者が個々に判断するので、よく説明してあげていただきたいと思います。よろしくお願いします。

〈教育長〉 ありがとうございます。この部分は厳重に注意して保護者に伝えるようにしたいと思います。

〈大原委員〉 資料5ページの【インフルエンザによる出席停止期間の基準】の「次の①～③を満たしたら、再登校（園）が可能です。」のところで、基準③は「基準①②の両方を満たしていること。」ですが、「次の①②を満たしたら、再登校（園）が可能です。」とせずに、③を設けている理由は何でしょうか。

〈教育長〉 すぐに分かりませんので、調べてから御報告させていただきます。

〈難波委員〉 大原委員が言われるとおり、基準③は、①と②を足したものですので、敢えて設ける必要はないと思います。

〈教育長〉 ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。

それでは続きまして、「出張mini学校給食展の開催について」の御説明を、三木部長、お願いします。

〈三木部長〉 学校教育部の三木でございます。

「出張mini学校給食展 ～来て 見て 体験！！ 倉敷の新しい食育～」についてお知らせいたします。配布資料にありますチラシを御覧ください。このたび給食週間に合わせて、1月24日（日）の午前10時から午後3時まで、イオン倉敷1階のキッズリパブリック内にて、mini学校給食展を開催することになりました。この催しは、倉敷市の学校給食全般について紹介するもので、最近の学校給食の献立を紹介するパネル展示のほか、倉敷中央学校給食共同調理場における給食調理の様子をビデオで流す予定でございます。アレルギー対応献立や食品ロスへの対応など、倉敷市の学校給食の取組を紹介するだけでなく、栄養士が作成している食育動画を会場で紹

介したり、食育クイズにスマートフォンで挑戦してみたりするといった、遊びの要素も取り入れたりしながら、親子で新しい学びのスタイルを楽しめる内容となっております。また、給食週間に合わせまして、1月23日（土）と24日（日）に、市内の小中学生が学校給食をテーマに作成した給食カルタも展示します。場所は、イオン倉敷2階のサウスコートです。

コロナ禍での開催ということで、イオン倉敷様とも協議をしまして、十分な対策を講じながら実施することとしており、会場での検温や手指消毒、マスクの着用などを徹底してまいりたいと考えております。

教育委員の先生方におかれましても、PR等に御協力いただきたく御案内申し上げます。よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 ありがとうございます。それでは御質問等ありましたら、お願いいたします。

〈沼本委員〉 この学校給食展は約1か月後の開催ということで、今からは難しいかもしれませんが、先ほどの議案第49号「令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」49ページの「学識経験者の意見」で「学校給食の地場産食材の使用頻度の低下」が指摘されています。「使用頻度の割合を恒常的に高めるとともに食育の充実も同時に期待したい。」という表現もされています。準備が時間的に可能であれば、地場産食材を題材にしたクイズやPRを盛り込んでいただけたらと思います。

〈教育長〉 ありがとうございます。

〈三宅副参事〉 地場産物の使用は、目標に掲げて普段から頑張っております。このmini学校給食展のパネルの中でも、地場産物の紹介をしたり、クイズの中に連島ごぼうや岡山県産のお米等も盛り込んだりしてPRできればと考えております。これからも充実させるように頑張っていきたいと思っております。

で、よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 よろしいでしょうか。

〈沼本委員〉 ありがとうございます。

〈教育長〉 他はよろしいでしょうか。それでは続きまして、「真備図書館の再開について」の御説明を、三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 生涯学習部の三宅でございます。委員会資料の6ページを御覧ください。「真備図書館の再開」について御報告いたします。再開日でございますが、令和3年1月30日（土）とさせていただきます。真備図書館ですが、平成30年7月豪雨災害によりまして、約2年半にわたり休館とさせていただきます。その間、仮設等で真備地区への図書館サービスを展開して参りましたが、この度、図書館の建物が再開されるということは、喜ばしいことだと思っております。

項番2でお示ししていますように、従来は約13万冊程度あったのですが、若干少なく、寄贈の約1万2,000冊を含め、約10万冊の蔵書、それから視聴覚資料が約2,200点でございます。

その他、3項目に記載されておりますとおり、1階に以前なかったのですが、授乳室を1室設けさせていただきました。

なお、1月30日（土）には、簡単な形ですが、再開館の記念式典を開催したいと思っております。以上、簡単ですが、御報告させていただきます。

〈教育長〉 ありがとうございました。ただ今の御説明について御質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の議題はすべて終了いたしました。本日の教育委員会はこれで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。